

2022年4月7日

加藤学園暁秀中学校・高等学校 いじめ防止基本方針

加藤学園暁秀中学校・高等学校は、本校におけるいじめの防止等に関する措置を実効的に行うため、「いじめ対策委員会」を設置します。いじめ問題は、「防止」「早期発見」「慎重な対処」を明確に区別して取り組むことを「基本方針」とし、教育機関として「本校の教育方針」に合った教育的指導（対応）を行います。

いじめの問題は、被害生徒と加害生徒だけの問題でなく、観衆（はやし立てたり、面白がって見ている生徒）や傍観者（見て見ぬふりをする生徒）も含めた集団の問題であると定義します。すなわち、「深刻ないじめ」に発展しないようにするために、日々の教育活動において、いじめが起こりにくい環境を作ることが大切です。

いじめについては、「いじめではないだろう」⇒「いじめかもしれない」⇒「いじめです」の境があいまいなため、その判断が重要です。そのため、「早期発見」と「慎重な対応」に心掛け、「いじめ対策委員会」で適切に判断し対処します。

また、本校に在籍する生徒の保護者及びその他の関係者との連携を図りつつ、学校全体で「いじめの防止」と「早期発見」に取り組みます。

「いじめの未然防止」が最優先課題のひとつであり、全ての生徒が、きちんと学校生活を送り、自ら進んで学習に取り組む意欲を高め、他者から認められているという実感を持てるようにするという視点で授業と集団活動を含む学校生活を定期的に見直します。

1 学校（教室）の生活環境整備と雰囲気づくり

授業中・休み時間等の教職員による校内巡視を定期的実施し、「いじめの防止」と「いじめの早期発見」に努めます。

また、学級担任は、朝終礼で生徒の様子を把握し、昼休み時（清掃時）等に教室の雰囲気の把握と環境整備に心掛けます。

2 いじめの防止等への啓発活動

生徒、保護者および教職員に対して、インターネット（SNS）・携帯電話（スマホ）等を通じて行われるいじめを含めた、いじめ防止等への理解を深めるために、啓発活動を行います。

ただし、本校では携帯電話（スマホ）は、「保護者との連絡及び緊急時のため」に、使用を許可制としています。インターネット・SNS等で、いじめに巻き込まれないように、各家庭での管理をお願いします。

3 道徳教育及び全校（学年）集会等の活用

生徒に対して、いじめの防止等のために、生徒の道徳教育および全校（学年）集会等の充実を図り、「いじめの防止」の定期的な啓発活動に取り組みます。

4 保護者に対して、保護者会（PTA 集会・学年集会）を通じ、「いじめの実態」と「いじめの防止」の情報を提供し、啓発活動に取り組みます。

5 生徒及び保護者の個別面接、年 2 回の「学校生活アンケート」を通じ、いじめの相談及び「早期発見」に努めます。

6 教職員の資質向上に係る措置

教職員に対して、「いじめの防止」のために、校内研修及び校外研修等により資質の向上を図ります。日々の職員朝礼、職員会議等を活用し、教職員に「いじめの防止」と「いじめの早期発見」に対する意識の向上と維持を促します。

本校では、「いじめの早期発見」が着実に成果を上げているかをチェックし、日常の生徒の行動の様子を把握することに努めます。また、いじめの疑いのある事案を把握したときは、速やかに「いじめ対策委員会」が適切な対応と措置を行います。

1 相談体制の整備

生徒及び保護者に対して、「いじめの早期発見」のために、相談体制を整備する。特に、学級担任・教科担任・部活顧問等との連携及び保健室・カウンセリング室との連携を強化します。

2 日々の情報収集とその他の必要な措置

生徒に対して、「いじめの早期発見」のために、いじめに関する日々の情報収集（定期的な調査を含む）とその他必要な措置を講じます。

3 外部機関の活用

特に、インターネット（SNS）又は携帯電話（スマホ）等を通じて行われるいじめについては、外部機関を活用（ネットパトロール実施を含む）し、定期的な報告を受け、「いじめの早期発見」に活用します。また、必要に応じて警察・弁護士・スクールカウンセラーの協力を得ます。

4 いじめの疑いのある事案を把握したときの措置

生徒、保護者及び教職員等から、本校に在籍する生徒がいじめを受けていると思われるとの通報・報告等を受けた場合等、在籍する生徒がいじめを受けていると思われるときは、「いじめ対策委員会」を中心として、速やかに事実の確認を行うための措置等をとります。

5 いじめへの対応

いじめの事実の有無の確認を行うための措置、及びいじめがあったことが確認された事案への措置等の「いじめへの対処」については別途定めます。

「いじめ対策委員会」を中心として、全教職員により、本校の「いじめ防止基本方針」の検証を行い、必要に応じて見直しを図ります。